

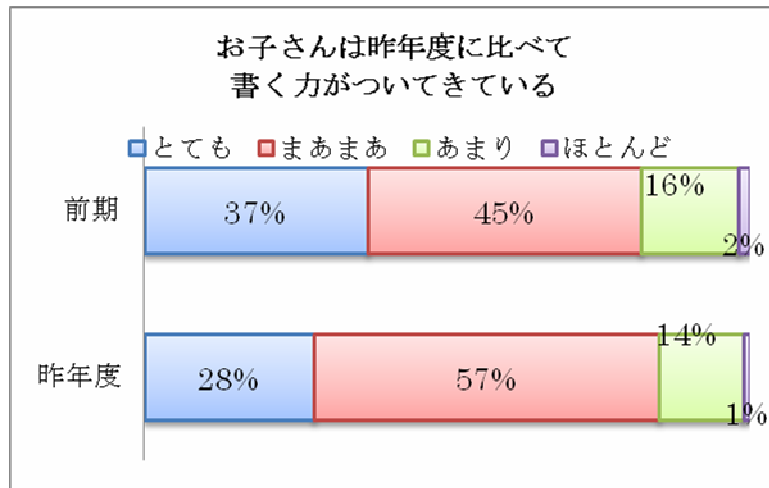
平成 22 年度前期 ~笑顔と楽しんでいっぱいの田井小学校~
田井小学校 学校評価だより

田井小学校では、学校教育課題解決の達成状況を把握するため、アンケート調査等を基に学校評価を行っています。前期アンケート結果の一部とこれからの取組についてお知らせします。

国語力の向上 ~自ら考え自分の言葉で表現する子を目指して~

取組

- (1) 学んだことを自分の言葉で書くための工夫。1 時間の授業や単元の終わりに、「分かったこと」や「気付いたこと」「まとめ」などを書くことを位置づけています。
- (2) 豊かな体験活動とつなげて自分の思いや願いを書けるような学習活動の工夫。
- (3) いろいろな読書活動に参加し、読書通帳などに記録を蓄積。

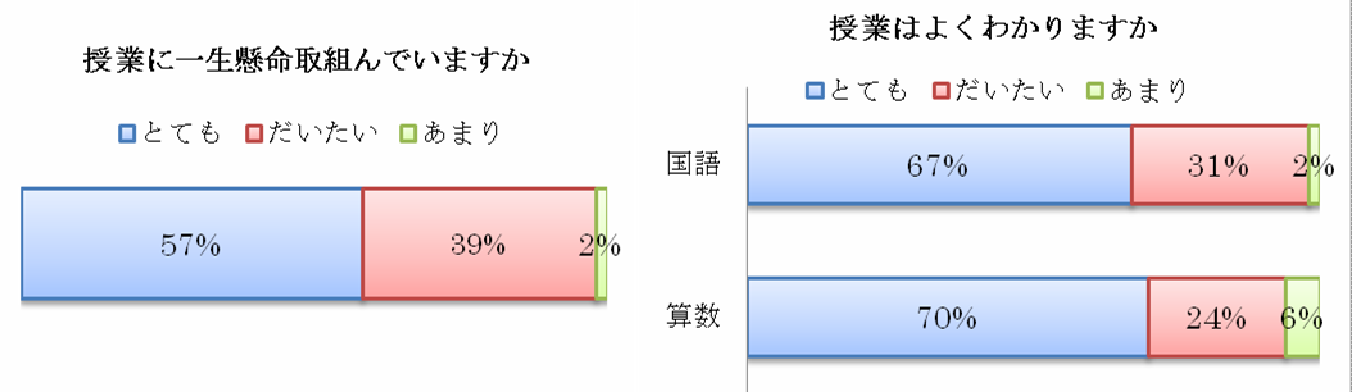


「昨年度に比べて書く力がついてきている」と思っている方よりも、「あまりついていない」と感じていらっしゃる方が 3 ポイント増えています。この現状を踏まえ、分かりやすく伝える努力をしていきます。学んだことを自分の言葉で書くノート作りを目指し、「気づき」をノートにまとめています。また、家庭学習帳の使い方の工夫に努めます。

【教職員による評価】A・B・C

学んだことを自分の言葉で書くことができる児童が 8 割以上	A
活動とつなげて自分の思いや願いを書くことができる児童が 8 割以上	A
自分で決めた目当ての冊数を達成できる児童が 8 割以上	A

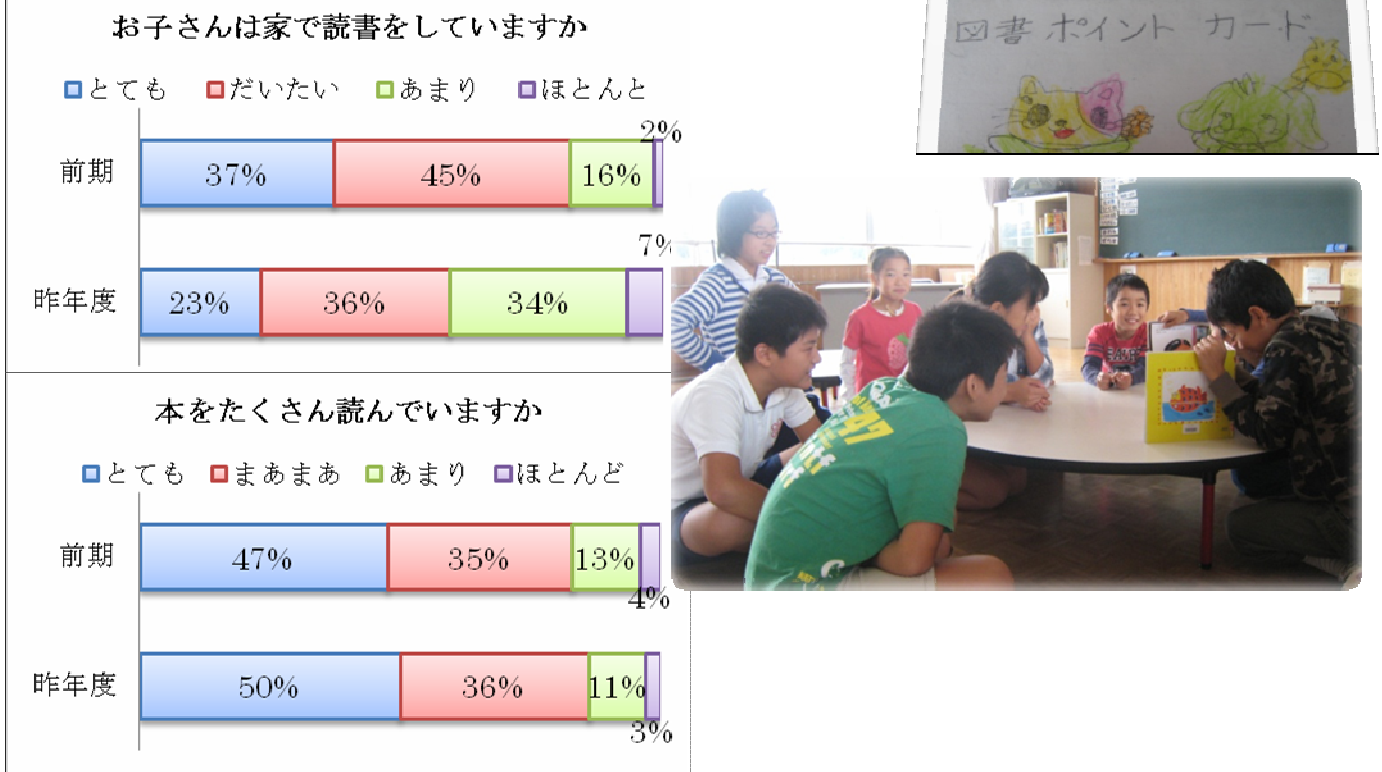
市共通アンケートの結果より



上記グラフは見附市全体で取り組んでいる「市の共通アンケート」の中で学習意欲に関するもの、児童が感じている授業に対する分かりやすさについての結果です。

9 割以上の児童が一生懸命取り組んでいることがわかります。一生懸命取り組んでいるけれど、あまりよく分からないと感じている児童もいます。

後期は、すべての児童が「分かった、できた」と言えるような授業になるよう努力していきます。



「本をたくさん読んでいる」と答えた児童が 4 ポイント下がっています。学年が上がるにつれ読書時間の確保が難しくなります。読書月間などのイベントを計画したり、家庭と連携した「家読」を推進したりして、図書室に足が向くよう工夫します。